

**策 新型インフルエンザ対策
(水曜会)**

- ◇関連質問
- ・歴史教育について (明政会)
 - ・教職員の多忙化解消と健康管理 (市民連合)
 - ・教員免許更新制について (新政クラブ)
 - ・教職員の健康管理、高校授業料無償化、児童館建設について (日本共産党)



中学校の授業風景

数学A・Bとも県平均を下回っている。今年度からの中学校学力向上対策事業により、学習指導の内容や方法について実践的な研究をより進め、その成果を各校へ普及していく。今後とも、公立学校教育の信頼確立に向けて全力で取り組んでいく。

問 本市における新型インフルエンザ患者の推計と、受け入れ医療機関の問題など対応策は。

答 国が示した新型インフルエンザの流行シナリオを基にした推計では、全体で人口の20%、約9万人が発症し、そのうち1・5%の約1400人が入院を要する状態となり、ピーク時には約170人が入院する見込みである。

現在では、全ての一般医療機関で診療を行う。原則は自宅療養となるが、入院は一般医療機関でも受け入れる。重症患者などの入院は、病床や人工呼吸器の確保などを含め、医療提供の体制確保についても、医師会や医療機関などと協議を行っていく。

◇関連質問

- ・対策と休校・学級閉鎖などの情報発信の取り組みは (明政会)
- ・対策の周知徹底と感染拡大防止策について (公明党)
- ・対策の周知徹底と大流行に備えた対応は (市民連合)
- ・感染拡大と重症化を防ぐ対策の確立を求める (日本共産党)

**源 芦田川河口堰の代替水
(明政会)**

問 河口堰は日量6〜7万トンの工業用水を取水しており、代替水源がない限り開放は不可能と答弁されている。しかし、高屋川浄化施設では日量4万トンの表流水を浄化して高屋川に再放流しているが、放水口にはアユが戻るほどきれいで、工業用水としての利用も可能な水質ということである。この水を隣接する中津原浄水場に導水し、河口堰工業用水の代替としてはどうか。



工業用水を取水する河口堰

答 高屋川浄化施設は、水質悪化の原因の一つとなっている高屋川のリンを90%除去して、その浄

化水を下流に流し、芦田川を浄化する目的で建設されたもので、工業用水への転用はできないと国土交通省から聞いている。河口堰の管理者は国土交通省だが、本市としては工業用水の水源確保には河口堰が必要であり、開放は困難と考えている。

◇関連質問

- ・芦田川の水質浄化策について (市民連合)

**策 南蔵王町・引野町の浸水防止策について
(日本共産党)**

問 度重なる道路冠水、事業所フロアへの浸水などの大雨被害に、市政に対する不信感を募らせた怒りの声を多く聞く。もともと、本市は海面より低い土地であり、強制排水の必要もある。手城川水系総合治水計画が実施中だが、完了しても時間55ミリの降雨があった場合、浸水範囲は3分の1しか縮小されない。計画実施の前倒しと、さらなる事業計画を求める。

答 河川管理者の県において、雨水貯留機能を高める春日池の改